

## 所 管 事 項 調 査 ②

### < 目 次 >

- |   |                       |    |
|---|-----------------------|----|
| 1 | 過疎地域持続的発展市町村計画の変更について | P1 |
| 2 | 長崎開港450周年記念事業の報告について  | P4 |
|   | 【参考】長崎開港450周年記念誌抜粋    | P8 |

企画財政部

令和4年6月



# 1 過疎地域持続的発展市町村計画の変更について

## (1) 過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法（過疎新法）の概要

### ア 経緯

「過疎地域自立促進特別措置法」（過疎旧法）が令和3年3月末で期限を迎えるにあたり、過疎地域について総合的かつ計画的な対策を実施するための新たな法律「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」（過疎新法）が令和3年4月1日に施行された。

### イ 過疎新法の目的（法第1条）

人口の著しい減少等に伴って地域社会における活力が低下し、生産機能及び生活環境の整備等が他の地域に比較して低位にある地域について、総合的かつ計画的な対策を実施するために必要な特別措置を講ずることにより、これらの地域の持続的発展を支援し、もって人材の確保及び育成、雇用機会の拡充、住民福祉の向上、地域格差の是正並びに美しく風格ある国土の形成に寄与することを目的とする。

### ウ 過疎地域（三和地区）の追加

#### 長崎市の過疎地域（法第3条）

R 4. 4. 1 追加公示 (R2 国勢調査)	R 3. 4. 1 公示 (H27 国勢調査)
<u>三和（追加）</u> ※法第43条の規定に基づき、令和2年の国勢調査の結果を適用するもの。	<u>伊王島、高島、野母崎、外海、香焼（追加）</u>
(ア) 人口要件（中期）：旧市町村単位での人口減少率 ※H7→R2の25年間で23%以上減少 三和地区（▲23.2%）	(ア) 人口要件（長期）：旧市町村単位での人口減少率 ※S50→H27の40年間で28%以上減少 伊王島地区（▲63.5%） 高島地区（▲95.4%） 野母崎地区（▲50.9%） 外海地区（▲68.3%） 香焼地区（▲34.6%）
(イ) 財政力要件：現在の市町村の財政力指数 ※全国市平均 0.64 以下→長崎市 0.59	(イ) 財政力要件：現在の市町村の財政力指数 ※全国市平均 0.64 以下→長崎市 0.59

## エ 過疎地域持続的発展市町村計画（法第8条）

過疎地域の市町村は、持続的発展方針（※）に基づき、当該市町村の議会の議決を経て過疎地域持続的発展市町村計画を定めることができる。また、市町村計画を変更しようとする場合について準用する。

※持続的発展方針…都道府県が過疎地域の持続的発展を図るために定める方針

## オ 過疎新法に基づく財政支援措置（法第12条、13条、14条）

（ア）過疎地域持続的発展市町村計画に基づいて行う事業に対する補助割合の特例

（イ）過疎地域持続的発展市町村計画に基づいて行う事業に地方債（過疎対策事業債）の充当

a 充当率：原則として100%

b 交付税措置：起債の元利償還金の70%について普通交付税で措置

## カ 過疎新法施行期日（附則第1条）

令和3年4月1日（令和13年3月31日まで10年間の時限）

## （2）過疎地域持続的発展市町村計画の変更について

### ア 計画変更の理由

過疎新法が施行されたことに伴い、過疎法に基づく過疎地域の持続的発展のための地方債などの財政上の特別措置及びその他の特別措置を活用し、長崎市の過疎地域の持続的発展を実現するため、新たに令和3年9月議会において、伊王島、高島、野母崎、外海及び香焼の5地区の過疎地域持続的発展市町村計画議案を提案し策定。

令和2年国勢調査の結果、令和4年4月1日に三和地区が過疎地域とみなされたことに伴い、本計画を変更するもの。

計画期間 令和3年度から令和7年度までの5年間（伊王島、高島、野母崎、外海、香焼）

令和4年度から令和7年度までの4年間（三和）



## 2 長崎開港 450 周年記念事業の報告について

### (1) 目的

1571年に長崎が開港して450周年を迎えることから、長崎のまちが港とそこから広がる海洋とともに発展していくことを、県民、市民が認識し、行動を起こす契機とするため、長崎開港450周年記念事業実行委員会（以下、「実行委員会」という。）において、長崎開港450周年記念事業を実施した。

### (2) 事業期間 令和元年8月から令和4年3月（2年8ヶ月）

### (3) 事業概要

#### ア 事業基本方針

(ア) 長崎の港が育んできた歴史や文化を継承し、シビックプライドを醸成するとともに、それらを活かした魅力の発信による交流人口の拡大を図る。

(イ) 長崎の海洋フィールドにある、製造・流通・水産・観光・レジャーなどの技術・資源を活かし、広い海洋利用の視点に立った新たな海洋関連産業の育成・創出に向けた契機とし、新しい港の活かし方や海の楽しみ方の創造につなげる。

#### イ コンセプト

長崎港と多種多様なテーマを組み合わせ、歴史をつなぎ、新しい魅力と価値を創造する。

#### ウ 事業実施方針

##### (ア) 四季ごとのテーマ

長崎開港450周年記念事業の基本方針を実現するため、次のように季節ごとにテーマを設けながら、1年間を通して県民・市民が主体的に参画できる事業を実施。

- a 春「感謝・愛」長崎港への感謝・愛を伝える
- b 夏「港」長崎の海と港に親しむ
- c 秋「まち」長崎のまちの原点を感じる
- d 冬「未来」開港500年へのスタート

##### (イ) 新型コロナウイルス感染症への対応

すべての記念事業において、新型コロナウイルス感染症対策を実施。

工 組織体制

<b>実行委員会総会 141名</b>	<b>顧問 62名</b>
名誉会長 長崎県知事                      監事 (株)十八親和銀行 会長 長崎市長                                      (株)長崎銀行 副会長 長崎商工会議所会頭              委員 134名 長崎県議会議長 長崎市議会議長	長崎ゆかりの国会議員 長崎市選出県議会議員 長崎市議会議員
<b>幹事会 22名</b>	
幹事長1名 副幹事長3名 幹事18名	
<b>ワーキンググループ 42名</b>	
座長1名 副座長1名 メンバー40名	
長崎港魅力発信・イベント部会      港の未来を考える部会	
<b>事務局</b>	
長崎市企画財政部開港450周年事業推進室（長崎県及び長崎商工会議所と連携）	

(4) 主な実施事業

別紙参照

(5) 実行員会の活動状況

ア 会議開催状況

年度	主な取組内容	実行委員会	幹事会	ワーキンググループ
令和元	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実行委員会組織設立</li> <li>・ロゴマーク公募・選定</li> <li>・基本計画策定</li> <li>・みなとまち長崎の未来像検討</li> <li>・予算</li> </ul>	2回開催 (うち1回書面開催)	3回開催 (うち1回書面開催)	10回開催 (うち1回書面開催)
令和2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施計画策定</li> <li>・みなとまち長崎の未来像検討</li> <li>・予算・決算</li> </ul>	4回開催 (うち1回書面開催)	4回開催	16回開催 (うち2回書面開催、3回意見照会)
令和3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記念事業実施</li> <li>・みなとまち長崎の未来像作成</li> <li>・予算・決算</li> </ul>	2回開催 (うち1回書面開催)	2回開催 (うち1回書面開催)	10回開催 (うち1回書面開催、3回意見照会)

イ 実行委員会事業費

(単位：円)

年度	収入	収入内訳	支出	差引
令和元	710,000	負担金(長崎市) 510,000 負担金(長崎商工会議所) 200,000	669,920	40,080 (負担割合に応じて、負担団体に対し返還)
令和2	26,581,063	負担金(長崎市) 25,581,000 負担金(長崎商工会議所) 1,000,000 利息 63	13,322,261	13,258,802 (翌年度予算へ繰越)
令和3	85,967,365	負担金(長崎市) 65,000,000 負担金(長崎商工会議所) 2,000,000 負担金(長崎開港記念会) 1,000,000 協賛金 4,040,000 寄付金 623,124 前年度繰越金 13,258,802 雑入 45,439	78,752,104	7,215,261 (負担割合に応じて、負担団体に対し返還)
合計	113,258,428		92,744,285	20,514,143

(6) 長崎市負担金決算

(単位：円)

年度	決算額	財源内訳
令和元	481,210	一般財源 481,210
令和2	25,581,000	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 11,655,000※ 長崎県21世紀まちづくり推進総合補助金 2,324,000※ 一般財源 11,602,000
令和3 (見込み)	58,089,884	市町振興共同事業助成金 10,000,000※ 長崎県21世紀まちづくり推進総合補助金 14,975,000※ 一般財源 33,114,884
合計	84,152,094	国県からの交付金など※ 38,954,000 一般財源 45,198,094

(7) 事業の成果

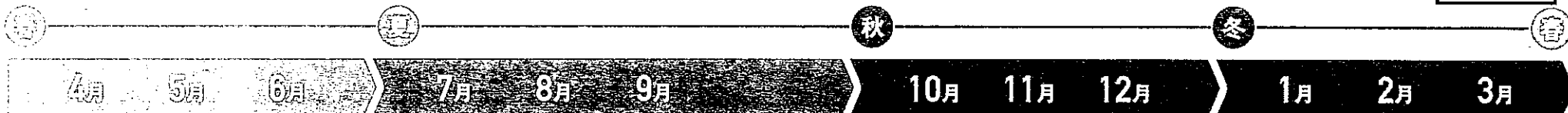
ア 主催イベントの参加者数

- (ア) 長崎開港450周年記念式典(配信)(令和3年4月) 約800人
- (イ) 長崎開港450周年記念講演会(令和3年11月) 300人
- (ウ) 長崎開港フェスタ450(令和3年11月) 32,000人
- (エ) 長崎開港シンポジウム500(令和4年3月) 354人

イ 連携事業等の登録数

連携補助事業10件(うち中止2件)、連携事業78件(うち中止23件)、関連施策39件(うち中止14件)





## 感謝・愛

長崎港への感謝・愛を伝える

## 港

長崎の海と港に親しむ

## まち

長崎のまちの原点を感じる

## 未来

開港500年へのスタート

4月23日～4月27日  
スタートアップイベント  
4月27日 記念式典

開催  
中止

7月31日、8月1日  
ながさきみなとまつり  
(長崎開港記念会、  
ながさきみなとまつり実行委員会)

11月20日、21日  
長崎開港フェスタ  
450(ヨンゴーマル)

3月21日  
長崎開港シンポジウム  
500(ゴーマルマル)

## 長崎開港450周年記念事業

小学校歴史パネル巡回展

開港450周年デジタルスタンプラリー

長崎港まちなかフォトスポット

みなとまち長崎の未来像策定

- VRで長崎港を観光しよう!(4-12月)
- 長崎ハタ揚げ大会(4/4)【開催中止】
- 「ながさき開港450年めぐり」出版(4/27発行)

### ▶ スタートアップイベント

- 長崎帆船まつり【開催中止】
- はたらくフネー一般公開【開催中止・VR動画公開】
- 歴史パネル展示(長崎歴史文化博物館、グラバー園)
- ロゴマーク小学生応募作品展(長崎歴史文化博物館)

- 親子体験学習  
「長崎UMIアカデミー」(7-11月)
- 出島少年伝習所  
～観光丸編～(7-12月)

- 海中探査ロボットで長崎の海をのぞいてみよう!! ～組立式ROV教室とROV競技会
- 出島の魅力再発見演劇と歌ダンスで綴る「出島物語」(10/16-17) (10/12・17・30)
- Sea級グルメ九州大会inNAGASAKI(11/14)【開催中止】
- 長崎開港450周年記念特別企画展「長崎の港」(11-12月)
- 海洋教育フォーラム(12/18-19)

# 長崎開港450周年 記念事業の概要

## 開催趣旨

長崎は、ポルトガル貿易船が入ってきた元亀2年(1571年)に開港し、令和3年(2021年)に開港450周年(開港記念日:4月27日)を迎えます。

長崎港は、鎖国時代から海外への玄関口として海外の産業・文化の受け入れに重要な役割を果たしており、明治時代には上海航路などの連絡船が寄港する歴史ある貿易港として発展してきました。

現代においても、海外貿易の物流の拠点としての機能や、県内離島への産業活動・生活支援等の機能、東アジアに近い位置にある世界への玄関口としての国際ゲートウェイの機能としても重要な役割を担っている港湾であり、「海の玄関口」である松が枝国際観光埠頭においては、岸壁の延伸(2バース化)が令和2年度からの新規事業として採用され、早期完成を目指すとともに、背後のまちづくりについても長崎県と長崎市及び経済団体などが連携して取り組んでいます。

また、長崎の海洋フィールドには、基幹産業である造船に加え、海洋構造物などの製造業をはじめ流通、水産、レジャーはもとより、資源、エネルギーなど多様な産業があり、それらが連携することによる複合的な産業・研究の場としての可能性を秘めています。

長崎開港450周年を、過去から未来へ歴史を伝え、次の50年に向けたスタートの機会として位置づけ、長崎のまちが港とそこから広がる海洋とともに発展していくことを、県民、市民が認識し、行動を起こす契機とするため、長崎開港450周年記念事業を各界の代表者の参画を得て、官民一体となって令和3年(2021年)に実施します。

長崎開港450周年記念事業を通して、長崎の港が育んできた歴史や文化の継承及びシビックプライドの醸成と、それらを生かした魅力の発信による交流人口の拡大を図るとともに、広い海洋利用の視点に立った新たな海洋関連産業の育成・創出に向けた契機とし、新しい港の活かし方や海の楽しみ方の創造に取り組みます。

未来を担うこどもたちに長崎の海や長崎の歴史のすばらしさに目を向けてもらい、長崎開港500周年に向けて、新しい長崎港の姿をつくっていくきっかけとするものです。

長崎開港450周年記念事業実行委員会 会長 田上 富久



## メインキャッチコピー

# ときめく みなと、つながる みんなと

The Enchanting Port of Nagasaki : A Global Intersection

長崎県民・市民の思いをあつめて、未来につなぐという意味を「ときめく」という単語に込め、「みなと」と「皆と」をかけ、長崎開港450周年記念事業を通して、長崎県民「みんなと」「つながる」ことによって、あたらしい長崎港の魅力を創り上げていくことを表現しています。また、長崎港の持つ歴史の深さや様々な魅力を発信し、ワクワク・ドキドキ・胸が高鳴る思いを体験、共有することにより、次の50年に向かってスタートしていくことを狙いとしています。

さらに、かつて長崎港は「鶴の港」と呼ばれていましたが、「つながる」の中に「つる」が隠れています。

「簡潔。こどもにわかる。心に響く。」をコンセプトに、ひらがな表記にすることでこどもにも分かりやすく、全世代に覚えやすいものにしました。

## キャッチワード

ヨンゴーマル

# 450

「450」を「ヨンゴーマル」と呼称し、キャッチワードとして使用することで印象付け、開港450周年を感覚的にとらえやすいワードとして県民への浸透を図りました。

## 長崎開港450周年記念ロゴマーク



長崎開港450周年

SINCE 1571

開港した長崎港をイメージし、大海原に当時寄港したポルトガル貿易帆船を構成してデザイン化。背景には、鎖国時代も西洋との窓口として開かれてきた出島を配し、波形は海と港を活かして培われた長崎の歴史と発展の流れとともに、長崎の魅力を国内外に発信し、次世代に繋がる想いを込めたニューウェーブを表しています。

2019年11月18日から

2020年1月31日まで作品募集

デザイン

応募総数

倉地孝幸さん(東京都在住)

763件(長崎県内391件、県外372件)



# 長崎開港450周年記念事業の概要

## 基本方針

- 1 長崎の港が育んできた歴史や文化を継承し、シビックプライドを醸成するとともに、それらを活かした魅力の発信による交流人口の拡大を図る。
- 2 長崎の海洋フィールドにある、製造・流通・水産・観光・レジャーなどの技術・資源を活かし、広い海洋利用の視点に立った新たな海洋関連産業の育成・創出に向けた契機とし、新しい港の活かし方や海の楽しみ方の創造につなげる。

## コンセプト

長崎港と多種多様なテーマを組み合わせ、歴史をつなぎ、新しい魅力と価値を創造する。

## 長崎開港450周年記念事業 実施方針

### 1 四季ごとのテーマ

長崎開港450周年記念事業の基本方針を実現するため、つぎのように季節ごとにテーマを設けながら、1年間を通して県民・市民が主体的に参画できる事業を実施しました。

#### 春 「感謝・愛」 長崎港への感謝・愛を伝える

長崎港は、開港から、閉ざされることなく、450年の永きにわたり私たちに恩恵を与え続けています。長崎港の魅力やまちの歴史の深さとともに、長崎港への感謝と愛を表現し、発信します。

#### 夏 「港」 長崎の海と港に親しむ

長崎の海と港のすばらしさを感じられるよう、海・港に親しめるような事業を行い、県民・市民の目を海や港に向け、活動を促します。

#### 秋 「まち」 長崎のまちの原点を感じる

1571(元亀2)年に長崎が開港したとき、「長か(なんか)岬」と呼ばれていた岬の突端(現在の県庁跡地から万才町のあたり)に、6つの町が作られました。港とともに発展する長崎のまちの原点を体感できるような事業を実施します。

#### 冬 「未来」 開港500年へのスタート

開港450周年の終盤にあたって、1年間を振り返るとともに、開港500年に向けて、県民・市民がスタートする契機となるような事業を展開します。



## 2 新型コロナウイルス感染症への対応

すべての記念事業において、新型コロナウイルス感染症の拡大状況に対応。

### 対応事例

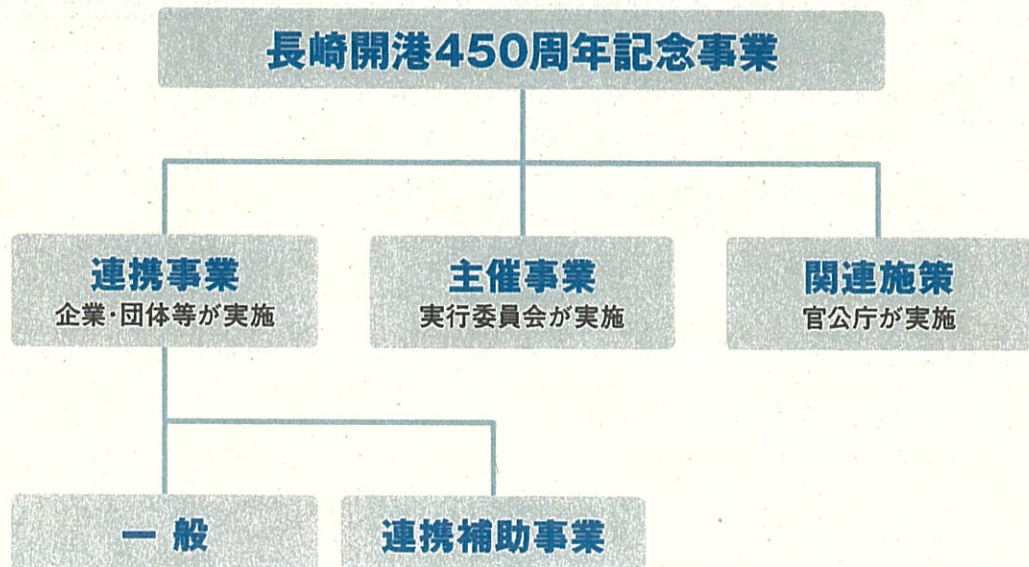
- 入退場時の制限や誘導、待合場所などにおける密集の回避
- 手指消毒、マスク着用の呼びかけ
- 室内の換気
- 客席との十分な距離の確保（出演者の発生等を伴う催事）、声援に係る感染防止策
- 客席間の距離の確保
- 国等から示される収容率や上限に応じた人数内での実施
- 参加者の連絡先の把握

## 記念事業の構成

### 1 事業構成

実行委員会が実施する「主催事業」、実行委員会構成機関（官公庁等を除く）や企業、団体等が主催する「連携事業」、官公庁等が長崎開港 450周年記念事業に関連して実施するイベントなどの「関連施策」で構成しました。

また、実行委員会は「連携事業への支援」や「情報発信」も行い、連携事業や関連施策においては、実施者それぞれの立場から長崎開港450周年の周知にご協力いただきました。



### 2 事業期間

2021年4月～2022年3月までの1年間

### 3 事業実施範囲

長崎港周辺地域を中心として、本事業の目的に合致して事業が行われる地域も含まれます。



# 長崎開港450周年記念事業の成果

(2022年2月時点)

## 1 主催イベント参加者数

- 長崎開港450周年記念式典(配信) 約800人
- 長崎開港450周年記念講演会 300人
- 長崎開港フェスタ450 32,000人
- 長崎開港シンポジウム500 一般応募者数 354人(2022年3月21日に延期)

## 2 連携事業等の登録数

連携補助事業10件(うち中止2件)、連携事業78件(うち中止23件)、関連施策39件(うち中止14件)

## 3 長崎開港450周年に対する市民の方の反応

長崎開港450周年記念事業の目標は「①シビックプライドの醸成」、「②交流人口の拡大」、「③港の活かし方、海の楽しみ方の創造」の3つです。

②については、新型コロナウイルス感染症の影響があり、県外からの来場者向けの情報発信を行なえず達成できませんでした。また、③については、長崎開港450周年記念連携補助事業で採択された事業や「みなとまち長崎の未来像」策定が成果と言えます。

シビックプライドの醸成については、長崎市において実施した市政モニターアンケート調査結果を参考とします。

## 令和3年度市政モニターアンケート

※1回目、2回目の対象者は同じ

### 1回目

- 調査期間：2021年8月23日～2021年9月6日
- 送付数：228人(郵送モニター：181人/インターネットモニター：47人)
- 回答率：71.5%(163人)(郵送回答：149人/インターネット回答：14人)

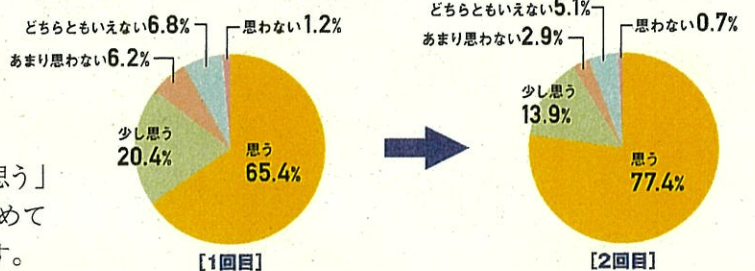
### 2回目

- 調査期間：2021年11月18日～2021年12月2日
- 送付数：227人(郵送モニター：180人/インターネットモニター：47人)
- 回答率：61.6%(140人)(郵送モニター：116人/インターネットモニター：24人)

## 1 シビックプライドの醸成

問 長崎港やみなとまち長崎を誇りに思いますか。

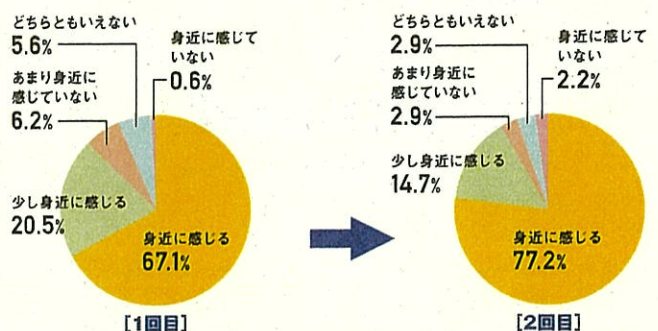
元々、港などを誇りに思っている方は、「思う」「少し思う」が約89%と高い割合を占めていましたが、2回目はさらに向上しています。



## 2 長崎港や海への親しみ

問 長崎港や海を身近に感じますか。

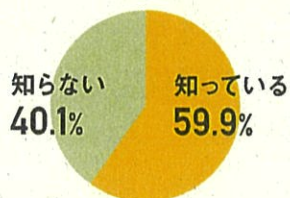
長崎港や海への親しみについても尋ねたところ、好意的な意見が占める割合が向上しています。



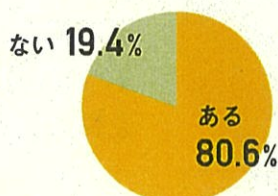


### 3 長崎開港450周年記念事業の認識度(広報の効果)

問 今年が「長崎開港450周年」であることを知っていますか。



問 今年が「長崎開港450周年」であることを直近3ヶ月に、市政モニターアンケート以外で、耳にした、目にしたことはありますか。



1回目のアンケートでは、約60%の方しか2021年が長崎開港450周年であることを知りませんでしたが、アンケート2回目となると、今年が長崎開港450周年であることを見聞きしている方が格段に増えているのがわかります。2回目のアンケート調査期間は「長崎開港フェスタ450」が開催された時期でもあり、積極的にテレビCM等で広報を行っていた時期と重なります。

## 長崎開港450周年記念事業実行委員会の活動状況

### 1 会議開催状況

実行委員会は、2019年8月22日に、長崎県、長崎商工会議所、長崎市を発起人として設立。2021年の記念事業実施に向け、計画策定などに取り組みました。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、書面開催への切り替えやリモート開催など、これまでとは異なる会議運営が求められることとなりました。

	主な取組内容	実行委員会	幹事会	ワーキンググループ		
				全体	長崎港魅力発信・イベント部会	港の未来を考える部会
2019年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 実行委組織設立</li> <li>● ロゴマーク公募・選定</li> <li>● 基本計画策定</li> <li>● みなとまち長崎の未来像検討</li> <li>● 予算</li> </ul>	8月22日 3月30日(※1)	10月30日 2月17日(※1) 3月12日	11月13日 3月10日(※1)	11月13日 12月12日 1月8日 2月12日 2月26日	11月13日 1月22日 2月13日
2020年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 実施計画策定</li> <li>● みなとまち長崎の未来像検討</li> <li>● 予算・決算</li> </ul>	7月30日 9月28日 1月25日(※1) 3月24日	7月14日 9月15日 12月25日 3月17日	7月3日 9月10日(※1) 12月16日 3月8日	5月(※2) 6月22日(※1) 8月5日 9月23日 10月6日 12月9日 2月24日	5月(※2) 10月8日 2月(※2) 2月25日 3月30日
2021年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 記念事業実施</li> <li>● みなとまち長崎の未来像作成</li> <li>● 予算・決算</li> </ul>	9月27日(※1) 3月(予定)	9月15日(※1) 3月(予定)	9月10日(※1) 12月22日 3月(予定)	7月1日	6月(※2) 6月29日 8月31日 9月(※2) 11月26日 12月(※2)

※1: 書面開催 ※2: 意見照会

### 2 事務局人員

局長1人、次長1人、係長1人、事務局員0~3人(時期により変動)

### 3 実行委員会事業費

2021年度決算前に記念誌編集を行うことから、2021年度は予算額を記載。

	2019年度	2020年度	2021年度(予算額)
収入	710,000円 (長崎商工会議所負担金 200,000円 長崎市負担金 510,000円)	26,581,063円 (長崎商工会議所負担金 1,000,000円 長崎市負担金 25,581,000円 利息 63円)	84,401,000円 (長崎商工会議所負担金 2,000,000円 長崎開港記念会負担金 1,000,000円 長崎市負担金 65,000,000円 協賛金 3,000,000円 前年度繰越金 13,401,000円)
支出	669,920円	13,322,261円	84,401,000円
差額	40,080円(※1)	13,258,802円(※2)	0円

※1: 負担団体に対し返還 ※2: 翌年度予算へ繰越



# 春

## 長崎港への感謝・愛を伝える

開港記念日である2021年4月27日、この日を中心として、スタートアップイベントや長崎開港450周年記念式典が行われ、港への感謝の気持ちを胸に、450周年のスタートを切りました。

## スタートアップイベント

### 長崎開港450周年記念 ロゴマーク 小学生応募作品展

令和元年度に長崎開港450周年を記念するロゴマークを募集した際、たくさんのお子もたちから寄せられた作品を特別展示しました。

**期間** 2021年 4月23日～6月6日

**場所** 長崎歴史文化博物館3階



長崎歴史文化博物館

### 長崎開港450周年記念 歴史パネル展

長崎開港450年の歴史を知っていただくために制作した「歴史パネル」を、長崎歴史文化博物館、グラバー園に展示しました。市内の小学校の巡回展示も行いました(→P62)。

**期間** 2021年 4月23日～4月30日

**場所** 長崎歴史文化博物館1階エントランス

**期間** 2021年 4月23日～

**場所** グラバー園旧スチール記念学校1階



長崎歴史文化博物館



グラバー園

## 貴重なVR映像を公開!はたらくフネの船内見学

長崎開港450周年を記念して、4月23日～27日まで長崎港松が枝国際ターミナルで実施される予定だった「はたらくフネ」の一般公開は、コロナ感染防止のため中止となりました。それを受けて、4月24日から長崎開港450周年公式サイトで、海底ケーブル敷設船「きずな」、海底ケーブル敷設船「おりおん」、コンクリートミキサー船「グラバー」の3隻の船内見学ができるVR動画を公開しました。



きずな



グラバー



おりおん



# 長崎開港450周年記念式典

**期日** 2021年**4月27日**

**場所** 長崎ブリックホール 大ホール

## 式典プログラム

### 第1部

オープニング映像・記念演奏(長崎交響楽団)

主催者挨拶(田上富久会長)

主催者挨拶(中村法道名誉会長)

来賓祝辞

姉妹都市等からのメッセージ動画

ロゴ制作者紹介

ヨンゴーマル大使・ヨンゴーマルサポーターの発表

メッセージの紹介

閉式挨拶(宮脇雅俊副会長)

### 第2部

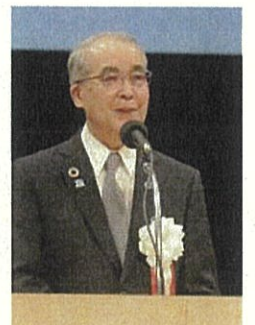
15:15~15:35 記念アトラクション  
「450年前の春物語」(長崎市演劇協会)

15:35~16:35 「長崎みなとトーク  
さだまさし×田上富久」

4月27日の開港記念日に合わせ、関係者や来賓を招き、記念式典を実施しました。新型コロナウイルスの影響で無観客開催となりましたが、その模様をYouTubeでオンライン配信しました。国内外のさまざまな方々からお祝いのメッセージをいただき、また、地元の皆さんの演奏や演劇が式典を盛り上げました。



主催者挨拶  
田上富久会長



主催者挨拶  
中村法道名誉会長



宮脇副会長の閉式挨拶



新型コロナウイルス感染症対策のため、無観客開催とした



# 秋

## 長崎のまちの原点を感じる

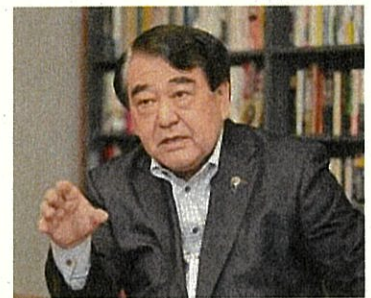
コロナ禍が一時落ち着いた秋、長崎の港やまちをテーマとした  
たくさんのイベントが開催されました

### 長崎開港450周年記念講演 寺島実郎氏 世界史から見た『長崎』

**期日** 2021年 **11月14日** 14:00~15:30

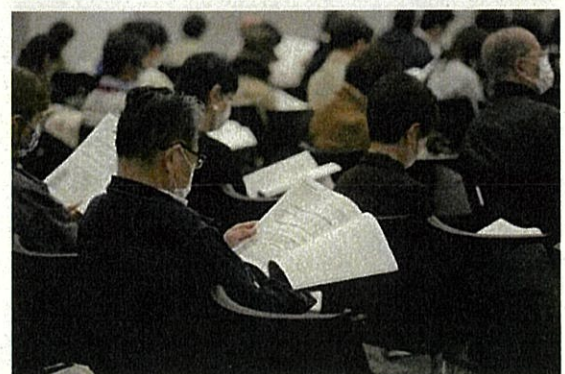
**場所** 出島メッセ長崎会議室101

**参加者** 300人



一般財団法人日本総合研究所会長  
で多摩大学学長などを務め、多数の  
メディアで活躍中の寺島実郎氏

他講演でも度々来崎している寺島氏。会場には、実行委員会が事前に募集し、競争倍率なんと約2倍の抽選で選ばれた300名が参加。「鎖国時代、出島はオランダと貿易をしていたと思いがちだが、オランダという国と向き合っていたわけではなく、オランダ東インド会社と向き合っていた。江戸幕府が開かれ、1636年に出島が完成し、1641年にオランダ東インド会社が出島に入った。一方、オランダ東インド会社は西側にも動いていて、1617年にニューヨークのマンハッタン島全体を買い取り、オランダ西インド会社を作った。オランダ東インド会社を主役に置くと、ニューヨークと出島は兄弟みたいなもの。歴史も背景も異なるが、同じ飛び地みたいなものだった。また、オランダの船は台湾とバタビア（今のジャカルタ郊外）に拠点を置いて出島に来ていた。これらのことは、その後の世界のつながり、資本主義の歴史に大きく影響する」と前置きし、「資本主義というものが歴史の中で動き始めてから450年。つまり、長崎開港450年の歴史と重なる」と論説。世界史の視点から見た資本主義の歴史、中国やアメリカとの関係性、今後の経済・産業再生への道筋などが語られ、資料を見ながら熱心に聞き入る参加者の姿が見られました。





# 長崎開港フェスタ450

ヨンゴーマル

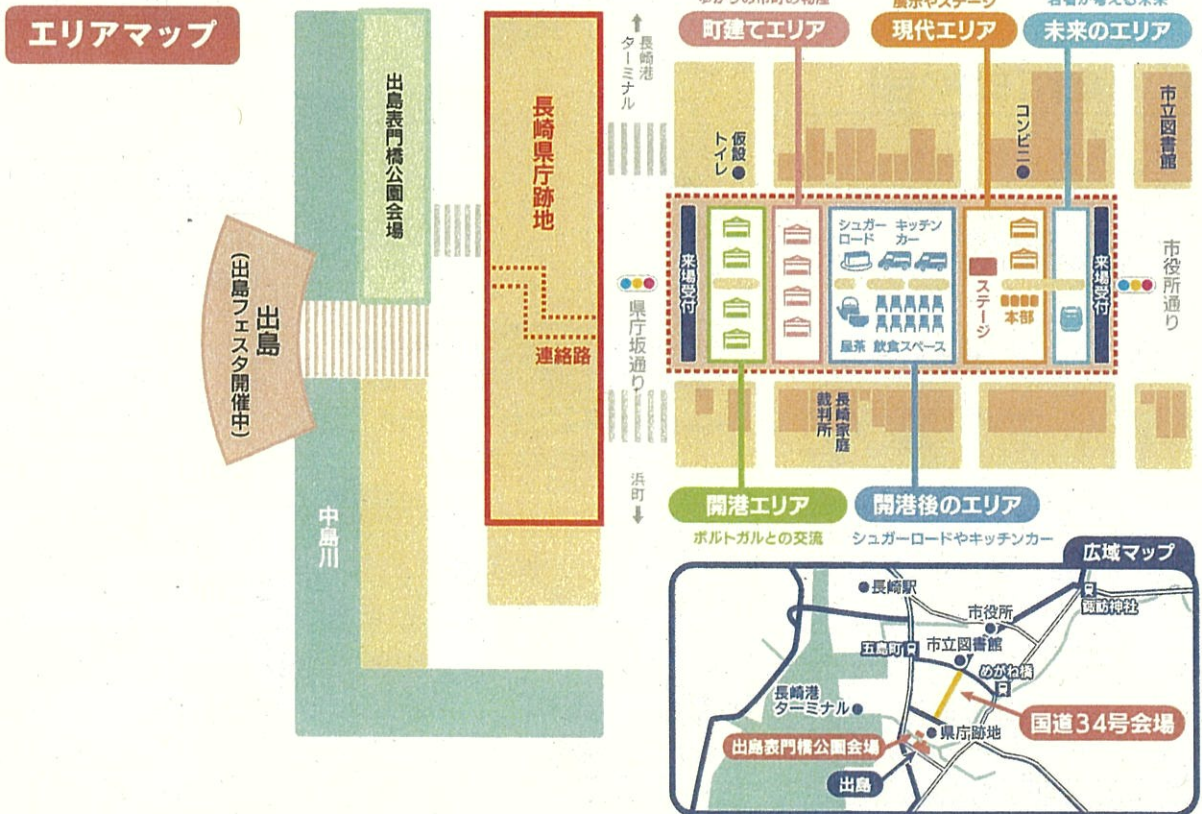


- 期日** 2021年 **11月20日・21日**
- [34号会場] 10:00~20:00、21日は17:00まで  
[出島表門橋公園会場] 10:00~20:00、21日は14:00まで
- 場所** 国道34号(県庁跡地前-長崎市立図書館)、出島表門橋公園など
- 来場者** 2日間 **3万2000人**

1571(元亀2)年に長崎が開港したとき、当時、「長か(なんか)岬」と呼ばれていた岬の突端(現在の県庁跡地から万才町のあたり)に、6つのまちが作られました。

長崎開港450周年に、この地を県民、市民が訪れ、まちの原点を感じられるイベントとして、長崎開港フェスタ450を開催しました。

かつて6町があった場所(県庁跡地前-長崎市立図書館)にあたる、国道約300メートルを歩行者天国として開放され、出島表門橋公園にも“来航船”を展示し、海外から多くの船が訪れていた往時の長崎の港を演出しました。長崎県庁跡地もこの2日間は連絡路として一部開放されました。



## 新型コロナ感染対策

新型コロナ感染防止対策として入場ゲートを設け、入場者には検温や消毒、氏名などの記載を行なった後、入場者用専用シールを渡し、見えるところに貼付するようお願いしました。







## 開港500年へのスタート

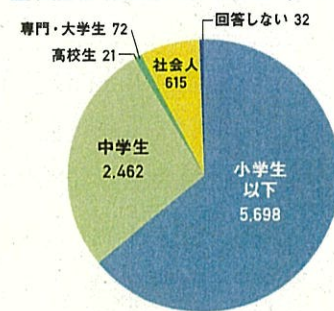
3月21日「長崎開港シンポジウム500」では、「みなとまち長崎の未来像」を発表！

「みなとまち長崎の未来像」は、8,900人も長崎県民・市民の方から寄せられた「50年後の未来のみなとまち長崎への想い」を集約して描きだしたものです。長崎開港450周年がひとつのきっかけになり、500周年の未来に向かって「みなとまち長崎」に住む人、働く人たちがチャレンジし、発展していくことを願っています。

### 長崎と関わる方々へのアンケート調査

県民・市民・関係機関のみなさんご自身が願う未来の姿をアンケート調査したところ、8,900人という多数の方から回答をいただきました。特に次の50年先に向け、次世代を担う学生の意見を幅広く集めることができました。この「想い」を集約し、イメージとして表現していきます。

■ 回答者 職種別人数 (人) 全8,900人



■ 長崎のみなとまちで好きなおとこ

- 1位 大波止ターミナル
- 2位 松が枝国際ターミナル
- 3位 水辺の森公園
- 4位 出島
- 5位 出島ワーフ

### 想いを集約【5つの柱】

#### 柱① 歴史・文化・平和

- ・長崎の歴史や文化を知ってもらおう
- ・長崎の歴史、文化を残す
- ・原爆(被爆者)の歴史を忘れない
- ・伝統を残す

#### 柱② 景観・環境

- ・夜景を活かす
- ・海のゴミを自動で除去
- ・環境、景観の保全
- ・長崎らしい景観

#### 柱③ 観光・交流

- ・空中散歩、海中散歩
- ・国際交流の玄関口
- ・いろんなところに架かる橋
- ・ドローン観光、ホテルシップ
- ・海上、海中アクティビティ

#### 柱④ 産業

- ・ロボットやAIが活躍
- ・浮島、連結(造船技術の伝承)
- ・新時代の船が入港できる最先端の港
- ・新エネルギー

#### 柱⑤ 物流・暮らし

- ・貿易が盛んなみなとまち
- ・長崎の食ブランド化
- ・災害に強い
- ・安全、安心

### 概念図

「未来へつなぐ、みなとまち長崎の新時代への挑戦」をコンセプトに450周年がひとつのステップとして未来へ発展していく羅針盤となる「みなとまち長崎の未来像」





# 長崎開港450周年記念連携事業・関連施策

長崎開港450周年記念事業の主催事業や連携補助事業のほかにも、実行委員会構成機関(官公庁等を除く)や企業団体等が主催する「連携事業」、官公庁等が長崎開港450周年記念事業に関連して実施するイベントなどの「関連施策」が市内各地で多数開催されました。

実施時期	事業名	実施主体	連携・関連
2020年11月7日～ 2022年3月31日	グラバー園VRイベント事業「グラバー一家の人々」	グラバー園	連携事業
2020年11月24日～ 2021年11月18日	長崎港広域連携工事(常盤浮桟橋2工区)	本間建設株式会社	連携事業
2021年1月12日～ 2022年2月5日	長崎大学教育学部付属小学校教育研究発表会3年生社会科「市の様子の移り変わり」～長崎開港450周年 ここから始まる50年～	長崎大学教育学部付属小学校	連携事業
2021年3月1日～ 2022年3月31日	長崎開港450周年カブチーノ	Attic coffee and dining	連携事業
2021年4月1日～ 2022年3月31日	地域観光資源創生事業(羽虫ベダルと連携した企画展・デザインマンホール)	長崎市観光交流推進室	関連施策
2021年4月1日～ 2022年3月31日	ながさき eスポーツ フェスティバル	一般社団法人 長崎県 eスポーツ連合	連携事業
2021年4月1日～ 2022年3月31日	長崎水辺の森公園・水路 レンタルボート事業	株式会社出島キャナル	連携事業
2021年4月1日～ 2022年3月31日	磁器製ストローの普及事業	株式会社しょうざん	連携事業
2021年4月1日～ 2022年3月31日	「長崎がスキ！」に手を添えて「長崎はステキ！」を伝える	長崎手彩色絵葉書	連携事業
2021年4月2日～ 2021年5月1日	長崎開港450周年記念事業展示「長崎開港450周年」	長崎市立図書館	連携事業
2021年4月3日	長崎開港450周年記念市民セミナー No.1「50年ごとに振り返る長崎」	NPO法人 アジェンダNOVAながさき	連携事業
2021年4月5日	長崎開港450周年記念切手	長崎市都市経営室	関連施策
2021年4月7日～ 2021年6月13日	長崎港をめぐる物語	公益財団法人 長崎ミュージアム振興財団	連携事業
2021年4月8日～29日	ながさきプレス観光課	ながさきプレス	連携事業
2021年4月16日～ 2021年6月27日	長崎開港450周年記念展示「ナガサキ」の発見～ケンベル、シーボルトにみる長崎開港～	シーボルト記念館	関連施策
2021年4月22日	長崎開港450周年記念講演会「オールド長崎 一廻る内町と外町」	長崎出島・内町活性化協議会	連携事業
2021年4月23日、12月3日	公民館講座(春・秋)	長崎市東公民館	関連施策
2021年4月24日～ 2021年6月6日	特別企画展「長崎開港450周年記念 ～ふたつの開港～」	長崎歴史文化博物館	連携事業
2021年4月24日～ 2021年6月30日	長崎開港から始まるシュガーロードを味わう	菜～さい～Nagasaki café	連携事業
2021年4月27日	先賢顕彰式	長崎開港記念会	連携事業
2021年4月27日～ 2022年3月31日	長崎開港450周年記念 税関特別展	長崎税関	連携事業
2021年4月30日～ 2022年3月31日	開港450周年ながさき盛り上げ隊	大場酒店	連携事業
2021年5月1日	令和3年長崎市成人式～みんなと(港)長崎～	長崎市成人式実行委員会	連携事業
2021年5月1日	長崎開港450周年記念市民セミナー No.2「禁教令と共存した浦上潜伏キリシタン」	NPO法人アジェンダNOVA ながさき	連携事業
2021年5月14日、7月29日、9月10日、 11月19日、2022年1月30日	長崎学ネットワーク会議公開学習会	長崎市長崎学研究所	関連施策
2021年6月1日～ 2021年7月4日	長崎開港450周年記念 懐かしきみとナガサキ 森田さんの秘蔵写真展	特定非営利活動法人ナガサキ ピースフィア員の日運動	連携事業
2021年6月4日～ 2021年9月30日	長崎総合科学大学マネジメント工学コース 総合情報学フォーラム	長崎総合科学大学	連携事業

実施時期	事業名	実施主体	連携・関連
2021年6月6日～ 2022年4月28日	長崎港をひとまわり	ゆっくり歩こう長崎街道	連携事業
小学校10月中旬 中学校6月12～13日	長崎市小学校体育大会、長崎市中学校総合体育大会	長崎市健康教育課	関連施策
2021年7月1日～ 2022年3月31日	開港450年 スマイルハマモノプロジェクト	株式会社ファイブタッグプラス	連携事業
2021年7月1日～ 2022年3月31日	長崎開港450周年記念×Song	エッセリー	連携事業
2021年7月2日～ 2021年10月24日	長崎開港450周年記念 出島企画展 ボルトガル展～出島のはじまり～	長崎市出島復元整備室	関連施策
2021年7月11日	長崎交響楽団設立50周年記念演奏会	長崎交響楽団	連携事業
2021年7月13日～18日	第19回アートフェスティバル	NPO法人長崎市芸術振興会	連携事業
2021年7月17日～ 2021年8月31日	長崎開港450周年記念事業 ほんしゃんの夏休み	長崎市旧香港上海銀行長崎支店記念館/ 長崎近代交流史と孫文・物屋庄吉ミュージアム	連携事業
2021年7月18日～22日	長崎開港450周年記念・TMライン杯夏季ダブルス大会	長崎市バドミントン協会	連携事業
2021年7月21日	長崎港「海の日」協賛会記念式典	長崎港「海の日」協賛会	連携事業
2021年7月24日～ 2021年8月15日	日本・ボルトガル現代美術展	日本・ボルトガル作家交流事業 プロジェクト	連携事業
2021年8月2日～ 2022年3月31日	「田川憲版画フレーム切手」の販売	日本郵便株式会社 長浜郵便局	連携事業
2021年8月6日～8日	夏休みみだよ ながさき プラタナス マルシェ	長崎港元船地区指定管理者	連携事業
2021年9月18日	長崎開港450ウォークラリー～君の想いが未来へつながる～	長崎青年会議所	連携事業
2021年9月18日	2021 長崎居留地まつり	長崎居留地まつり実行委員会	連携事業
2021年9月22日～28日	秋の大九州うまいものと技紀行	株式会社 長崎県貿易公社	連携事業
2021年9月25日	あじさいEnglish Day kidsコース	長崎市国際課	関連施策
2021年9月30日～ 2021年10月21日	中央公民館 秋の講座 長崎開港450周年「長崎恋さるくVol.5」	長崎市中央公民館 指定管理者 株式会社NBCソシア	連携事業
2021年10月2日	市民セミナー2021 No.7「史料から見る岬の教会」	NPO法人 アジェンダNOVAながさき	連携事業
2021年10月4日、14日、20日	中学生講座(オンライン開催)	長崎市学校教育課	関連施策
2021年10月6日～ 2021年11月10日	中央公民館 秋の講座 開港450年めぐり 幻の田川憲版画と歩く長崎の町と歴史	長崎市中央公民館 指定管理者 株式会社NBCソシア	連携事業
2021年10月14日～ 2021年12月5日	長崎開港450周年記念企画展「出土品がモノ語る、開港当時の長崎」	長崎市文化財課	関連施策
2021年10月16日	あじさい・イングリッシュ・スピーチ・コンテスト	長崎市学校教育課	関連施策
2021年10月17日	長崎開港450周年記念講演会	NPO法人長崎教育研究所	連携事業
2021年10月17日	LA MOECO ライブツアー2021 ¡¡Vamos allá!! in NAGASAKI	MOECOCREW	連携事業
2021年10月19日～ 2022年4月17日	長崎開港450周年記念企画展「野口彌太郎と港の風景～長崎港を描いた画家たち～」	長崎市文化財課	関連施策
2021年10月20日～ 2022年2月21日	長崎学資料展示室オープン記念展	長崎大学付属図書館経済学部分館	連携事業
2021年10月21日～ 2021年11月11日	中央公民館 秋の講座 長崎開港450周年記念「絹と十字架」	長崎市中央公民館 指定管理者 株式会社NBCソシア	連携事業
2021年10月23日～ 2021年11月13日	中央公民館 秋の講座 長崎開港450周年記念「たまのうら」の変遷と残像	長崎市中央公民館 指定管理者 株式会社NBCソシア	連携事業
2021年10月24日	海岸清掃イベント・長崎港周辺のボランティア清掃活動	長崎環境政策課	関連施策
2021年10月30日	まちづくりアイデアコンテスト	長崎市学校教育課	関連施策



実施時期	事業名	実施主体	連携・関連
2021年10月31日	市民三曲演奏会	長崎市文化振興課	関連施策
2021年11月1日～ 2022年10月31日	[長崎版]ワンクめりえコンテスト2021	長崎新聞社	連携事業
2021年11月5日～ 2022年1月30日	長崎開港450周年記念 出島特集展示 出島が海に開くとき	長崎市出島復元整備室	関連施策
2021年11月7日	第9回 ツールド・ちゃんぼん	ツールド・ちゃんぼん 実行委員会	連携事業
2021年11月18日～ 2021年12月5日	長崎開港450周年記念 第70回長崎市民美術展	市展実行委員会	連携事業
2021年11月19日	世界夜景サミットin長崎	一般社団法人 夜景観光コンベンション・ビューロー	連携事業
2021年11月20日～21日	水辺の森ワイヤーフェス	ワイヤーママ長崎	連携事業
2021年11月20日～22日	開港5都市景観まちづくり会議2021 開港450周年記念長崎大会	開港5都市景観まちづくり会議2021 開港450周年記念長崎大会実行委員会	連携事業
2021年11月21日	長崎開港450周年記念講演会 「キリシタンの時代の長崎におけるポルトガル人の存在」	長崎市国際課	関連施策
2021年12月4日	市民セミナー2021No.8「開港70年後の貿易都市長崎」	NPO法人アジェンダNOVA ながさき	連携事業
2021年12月4日、 2022年1月10日、2～3月	長崎文化時間リーディング・セッション 「観る文学×聴く演劇」	長崎市文化振興課	関連施策
2021年12月10日～ 2022年1月10日	光のペイサイドpresentナガサキクリスマス2021	長崎ペイサイドテラス実行委員会	連携事業
2021年12月25日～26日	市民参加舞台「ながさきのたね」	長崎市文化振興課	関連施策
2022年1月7日	長崎市消防出初式	消防局総務課	関連施策
2022年1月15日～ 2022年2月13日	高浜寛のマンガに登場するアイテムで読み解く 19世紀末展 長崎三部作	株式会社長崎国際テレビ	連携事業
2022年1月22日	「長崎開港450周年記念」講演会&クローズトーク	長崎開港記念会 長崎商工会議所	連携事業
2022年1月22日～ 2022年3月18日	長崎県文化観光推進事業長崎開港450周年記念 シンポジウム「それぞれの長崎港」—開港500年に向けて—	長崎歴史文化博物館	連携事業
2022年1月28日	LRT都市サミット長崎2022	長崎市公共交通対策室	関連施策
2022年2月11日	長崎学研究発表会	長崎市長崎学研究所	関連施策
2022年3月11日～13日	市民いけばな展	長崎市文化振興課	関連施策
2022年3月12日～21日	市民演劇祭	長崎市文化振興課	関連施策
2022年3月29日	ながさき異文化ちゃんぼんフェスタ	長崎市国際課	関連施策

## 新型コロナウイルス感染防止等の理由により、中止になった事業

実施時期	事業名	実施主体	連携・関連
2021年1月3日	長崎遊泳協会泳ぎ初め式	NPO法人長崎遊泳協会	連携事業
2021年1月～12月	ホルス 金曜日	株式会社ホルス	連携事業
2021年2月6日～22日	明治期の長崎 ビエールロティとおかねさん、そして蝶々夫人	비에ール로티とおかねさんそし て蝶々夫人の仲間たち	連携事業
2021年3月13日	長崎開港450周年記念連携プレ事業 2020文化のつどい	NPO法人長崎国際文化協会	連携事業
2021年4月1日～ 2022年3月31日	授産製品販売促進	長崎市障害福祉課	関連施策
2021年4月1日～ 2022年3月31日	長崎「食」の博覧会	長崎市水産農林政策課	連携事業

実施時期	事業名	実施主体	連携・関連
2021年4月1日～ 2022年3月31日	長崎開港関係史料の調査・公開事業	長崎市長崎学研究所	関連施策
2021年4月1日～ 2022年3月31日	開港イベントへ公民館等の自主学習グループを紹介事業	長崎市生涯学習課、各公民館、 各文化センター	関連施策
2021年4月23日～25日	第1回 ながさきプラタナスマルシェ	長崎港元船地区指定管理者	連携事業
2021年4月23日～27日	2021 長崎帆船まつり	長崎帆船まつり実行委員会	連携事業
2021年5月1日～5日	古賀植木まつり	古賀植木園芸組合	連携事業
2021年5月3日	2021 ざよこはまバレードへの「龍踊り」等出演	長崎市東京事務所	関連施策
2021年5月3日～4日	長崎開港450周年文化記念コンサート	長崎バンドの輪	連携事業
2021年5月3日～5日	春のぼかぼか美術館	公益財団法人 長崎ミュージアム振興財団	連携事業
2021年5月22日～30日	九州物産展	株式会社長崎県貿易公社	連携事業
2021年5月26日～ 2021年6月1日	第38回 大九州物産展	株式会社長崎県貿易公社	連携事業
2021年5月29日	「あじさいコンサート」 ～今こそ「音楽の力」を!!	蝶々夫人の街ながさき	連携事業
2021年6月1日～ 2022年3月31日	オリジナルラベル清酒の販売	株式会社杵の川	連携事業
2021年6月12日～13日	2021 長崎マリンフェスタ	長崎マリンフェスタ実行委員会	連携事業
2021年7月31日～ 2021年8月1日	長崎開港450周年記念令和3年度 長崎ベロン選手権大会	長崎ベロン選手権大会 実行委員会	連携事業
2021年7月31日～ 2021年8月1日	ながさきみなとまつり	長崎開港記念会 ながさきみなとまつり実行委員会	連携事業
2021年8月～10月のうち 土日祝日のいずれか1日	長崎開港450周年記念シンポジウム	長崎市長崎学研究所	関連施策
2021年8月	「水道創設130周年記念 ながさき水フェスタ」	上下水道局総務課	関連施策
2021年8月6日	生徒会リーダー研修会(いわき市とのリーダー交流会)	長崎市学校教育課	関連施策
2021年8月10日	中央公民館 夏休み子ども講座 長崎開港450周年企画「長崎港の不思議めぐり」	長崎市中央公民館 指定管理者 株式会社NBCソシア	連携事業
2021年8月18日～19日	あじさい・グローバル・リーダー研修会	長崎市学校教育課	関連施策
2021年9月24日～27日	長崎市シルバー作品展	長崎市高齢者すこやか支援課	関連施策
2021年10月中旬の日曜日	長崎さかな祭り	長崎さかな祭り実行委員会	連携事業
2021年10月24日	市民音楽祭	長崎市文化振興課	関連施策
2021年11月3日	第35回 男子解禁「長崎ウーマンズ・ウォークラリー」	長崎ウーマンズ・ウォークラリー 実行委員会	連携事業
2021年11月27日	あじさい・イングリッシュ・デイ	長崎市学校教育課	関連施策
2021年11月予定	オープンマルシェ 2021 青果まつり	長崎市中央卸売市場オープン化 実行委員会	連携事業
2022年2月2日～6日	第11回長崎市障害者アート作品展	長崎市障害福祉課	関連施策
2022年2月20日	マダムバタフライフェスティバル	長崎市文化振興課	関連施策
2022年2月27日	長崎開港450周年記念「文化のつどい」	NPO法人長崎国際文化協会	連携事業
2022年2月頃	日吉自然の家でのイベント	日吉自然の家	連携事業
2022年3月中旬	ながさきグリーンキャンペーン	長崎市土木総務課	関連施策